



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

令和3年 1月 17日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディエスディーゾーズスイ

団体名 岡山市京山地区ESD・SDGs推進協

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ☒ 継続 7回目(平成27年度から)
課題	京山地区ESD・SDGs推進協議会は毎年、ESD・SDGsフェスティバルにおいて地域課題を論議している。昨年はSDGs No one behind「だれ一人取り残さない」、一昨年は「豪雨災害、いつ逃げたらよいか、どこへ逃げたらよいかを考えよう」等。そして、第10回には「自転車マナー問題」が出てきた。その論議を受けて、地域の絆プロジェクト企画委員会を中心として、「やさしく走ろう京山」運動を展開し、「自転車マナー問題」の解決を目指す。
事業の目的	地域住民の生活が安全・安心であることは最も大切なことの一つである。京山地区ESD・SDGs協議会では、ESD・SDGsの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力している。 ①京山地区の地域課題ランキングの第1位の「自転車のマナーの改善」、「やさしく走ろう京山」運動に取り組み、京山地区が安全で安心できる地域を作っていく。 ②「やさしく走ろう京山」運動を通して、「自転車先進都市おかやま」をめざす先進的な取り組みにする。

事業の内容・感染防止対策の内容	・「やさしく走ろう京山」の啓発プレート地域住民、児童、生徒、学生に配布する。 ・感染症対策が十分防止されて、伊島、津島小学校の交通安全教室が開催されれば、説明に出向き、「やさしく走ろう京山」運動の趣旨を伝える。また、4年生の希望者に啓発プレート、4・5・6年生に啓発ステッカー（3種のうち1種を選ばせ）配布する。 ・京山中学校には、1年生自転車通学生全員に啓発プレートを配布する。全校生徒に啓発ステッカー（3種のうち1種を選ばせ）配布する。 ・京山中学の全生徒あてに「やさしく走ろう京山」運動についての意識を深めるアンケートを実施する。 ・啓発プレート、啓発ステッカー（3種）を公民館、いづみ町交番に常時置く。また、その場所を拡充する。 ・「やさしく走ろう京山」運動のポスターを作成する。そのために、学区内にある高等学校、京山中学校にデザインの募集を行う。 ・上記のことを通して、中高生に「地域の願い」を届けるとともに「やさしく走ろう京山」運動の担い手を生徒・児童に広げていく。 ・昨年はコロナの影響による岡山大学のオンライン授業の実施や警察の助言を踏まえ実施を見送った。令和3年度もコロナ対策を十分行い、岡大、警察署と協議しながら、岡山大学前交差点での「自転車マナー向上協働行動」の継続化をめざす。さらに、他の交差点でも「自転車マナー向上協働行動」が行えるように、協働行動を広げる努力をする。 ・伊島学区、津島学区、隣接する御野学区、岡山大学事務局、岡山大学のボランティア学生組織「岡山大学地域つながり隊」、岡山西警察署、岡山市の自転車都市推進担当課などとの協働の運動を行い、「自転車先進都市おかやま」のモデル事業をめざす。 ・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強める。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールする。 ・企画委員会、第17回京山地区ESD・SDGsフェスティバル「地域の絆プロジェクト」などで論議を深め、運動を広げていく。 ・「自転車マナー向上交通教室」を開催する。 ・「やさしく走ろうおかやま」リフレクターを作成し、広く配布していく。
期待される成果・目標	・「やさしく走ろう京山」を広げ、啓発プレート・ステッカーを付けることによって自転車マナー意識の向上を行い、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になること。 ・「やさしく走ろう京山」運動を発端とし“自転車先進都市おかやま”への取り組みが進む。 ・京山中学校へのアンケート結果、「やさしく走ろう京山」運動の認識度を50%以上にする。
企画などの工夫	・「やさしく走ろう京山」の啓発プレート、啓発ステッカーを使い、運動をより広める。リフレクターで岡山市全体に広める。 ・ポスターを制作し、広報に努める。また、そのデザイン募集で意識の向上を狙う。 ・現在協働行動ができている、隣接の御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課など関係団体と協働行動をさらに強める。また、この協働行動を「自転車先進都市おかやま」をみすえて、協働の運動を行う。他学区にも広げるように努める。

協働する団体等	・御野学区各種団体 ・石井学区交通安全母の会等 ・南方学区交通安全母の会等 ・岡山大学・岡山大学地域つながり隊 ・岡山市自転車都市推進担当課などの関係各課 ・京山中学校区各町内会 ・伊島・津島学区コミュニティ協議会 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会 ・伊島・津島学区交通安全母の会 ・伊島・津島学区安全安心ネットワーク・伊島・津島学区老人クラブ ・明誠学院高等学校、岡山工業高等学校 ・岡山商科大学付属高等学校
事業の情報公開	・「地域の絆プロジェクトだより」（年４回発行）を地域の全戸に配布（約１万世帯） ・京山地区ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊等の参加団体への呼びかけ ・オニビジョン、山陽新聞などマスコミ関係に積極的に呼びかける。
学区地区への広がり	・京山学区へは、のぼり、ポスター掲示を充実させる。 ・「自転車マナー向上協働行動」を軸に他地区、岡山市全体への働きかけをし、「自転車先進都市おかやま」を目指す。
前年度からの見直し拡充点	・京山中生徒へのアンケートの実施で「やさしく走ろう京山」運動の認識度を５０％以上とする数値目標を掲げる。 ・ポスターデザイン募集、制作を通じて中高生の意識改善を狙う。 ・「自転車マナー向上協働行動」をコロナの状況、岡大の状況を見ながら、各学期１回の開催を定着させ、他の地区、他の学校との協働行動を模索して、「自転車マナー向上協働行動」の拡充を図りたい。また、そのことを通して岡山市全体へのとりくみの働きかけをしたい。
次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・地域住民、小中学生、こども園の保護者への啓発プレート、ステッカー配布を積極的に進め、認知度を高めたい。また引き続き、のぼり旗による「自転車マナー」向上の呼びかけを行う。 ・隣接学区、高校、大学への協働行動を呼びかける ・京山地区の中学生、高校生の自転車運転マナー向上のために呼びかけ強化 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ （ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○ 資金確保の具体的な方策： 協賛金・協力金募集の趣意書を配布し、参加団体などに呼びかけ、資金確保に努める。 また、引き続き全労済からの補助金を得る。
その他ＰＲしたい点	・この事業は継続実施の必要性があることは明らかである。令和３年度以降も啓発プレート、ステッカー「やさしく走ろう京山」の配布、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていく。 ・御野学区、岡山大学との協働行動「自転車マナー向上協働行動」は学区を超えたという点で画期的なことだと考えているこれをさらにすすめていく。是非とも、岡山市全体への運動の推進を図りたい。

事業スケジュール 随時、プレート、ステッカー配布

月日	活動内容
4月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 交通安全週間 伊島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
5月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島認定こども園へプレート、ステッカー配布 地域の高等学校、中学校へポスターデザイン募集
6月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布 津島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
7月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山中学校へプレート、ステッカー配布 京山中学校でのアンケート調査
8月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
9月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上交通教室」開催 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布 ポスター完成、関係へ配布
10月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 地域のイベントで啓発プレート、ステッカー、ポスター配布
11月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
12月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布
1月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区ESD・SDGsフェスティバル 「自転車マナー向上協働行動」の実施
2月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
3月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	200,000	200,000	
実施団体負担金	32,513	30,000	京山地区ESD・SDGs推進協議会
参加者負担金			
協賛金	40,000	40,000	交通対策協議会・安全安心ネットワーク等
寄附金、他収入	130,000	130,000	全労災等
収入合計	402,513	400,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	402,512	374,000	啓発プレート・ステッカー・のぼり作成代 地域の絆だより・チラシ作成代
②食糧費		24,000	活動スタッフ 飲み物代
③印刷製本費			
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費		2,000	企画委員会案内郵送代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
小計(①)	402,512	400,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費			なし
小計(②)			
支出合計(①+②)	402,512	400,000	

◆概算交付の可否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ○希望しない
----------------	------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

--

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。